

AKABIRA LOVE ♥♥



1895年に最初の炭鉱が着工して以来、最盛期には22カ所の炭鉱が稼働し、近代産業に欠かせないエネルギー源を生み出す『石炭のまち』として栄えてきた赤平。しかし、エネルギー革命による石炭産業の斜陽を迎える1994年の住友赤平炭鉱の閉山を最後に、約100年間続いたまちの火が消えることに……なるかと思いきや、何しろ残り火に気をつけないといけないのが石炭である。このまちで最後まで決して消えなかつた小さな火が、最近になっていよいよ元気よく燃え始めた様子。新名物料理や炭鉱遺産のガイドクラブの誕生など、赤平の人たちは実に情熱的で楽しげ。本誌片手に、ぜひまちを探索してみよう。もしかしたら、「赤平LOVE」マインドがあなたにも飛び火するかも？

index もくじ

赤平の炭鉱と歴史を見守る「TANtan」とは？	P03
赤平の炭鉱遺産、見所は？	P05
炭鉱に埋もれた思い出に出会う	P07
炭鉱長屋の食文化が、名物料理となってカムバック	P11
老舗で味わう、まちの匂い	P13

編集＆ライティング／ドウヴィーニュ仁央
アートディレクション＆デザイン／川本真也
写真撮影／山本頭史（ハレバレシャン）
イラストレーション／池田裁人
発行元／赤平市
問い合わせ／企画財政課企画調整係 TEL:0125-32-1834
〒079-1192 北海道赤平市泉町4丁目1番地

